

中期経営計画「LEAD THE VALUE 計画」の概要

当社グループは、平成18年10月に公的資金返済を完了し、経済金融情勢や競争環境といった当社グループを取り巻く経営環境が大きく変化したことを踏まえ、平成19年度から21年度までの3年間を計画期間とする中期経営計画「LEAD THE VALUE 計画」をスタートさせました。

計画の策定にあたり、当社グループが持続的な成長を果たすために最も重要なことは、お客さまに期待以上の価値を提供し、お客さま自身の価値向上をリードする存在であり続けること、と整理いたしました。私どもは、当社グループの持つ本来の力を、これまでも戦略ビジネスの収益事業化の過程で我々が発

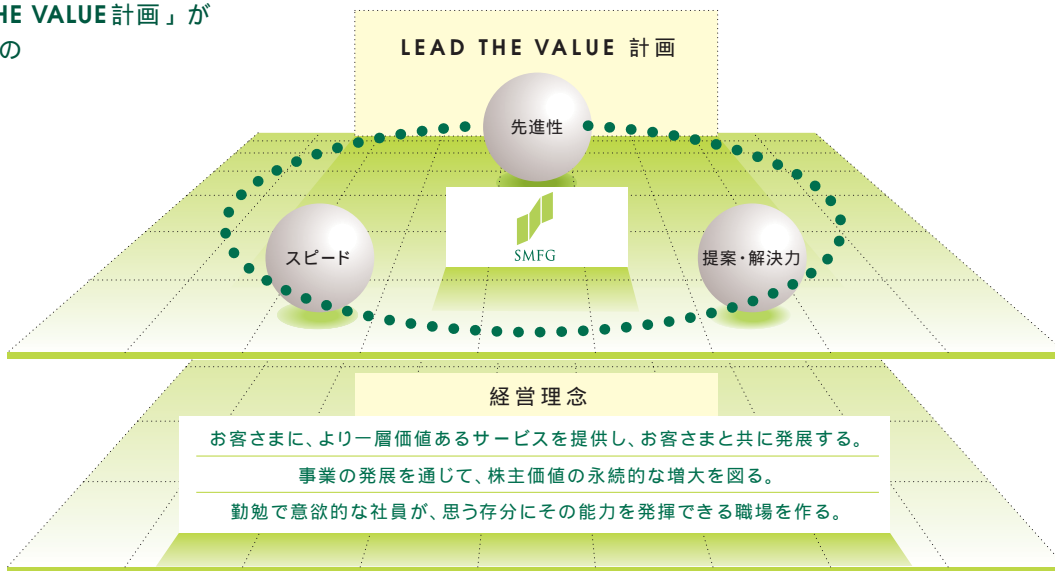
揮してきた、「先進性」「スピード」「提案・解決力」にあると再確認し、この付加価値を極大化することにより、「最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループ」を目指しています。

当社グループは、

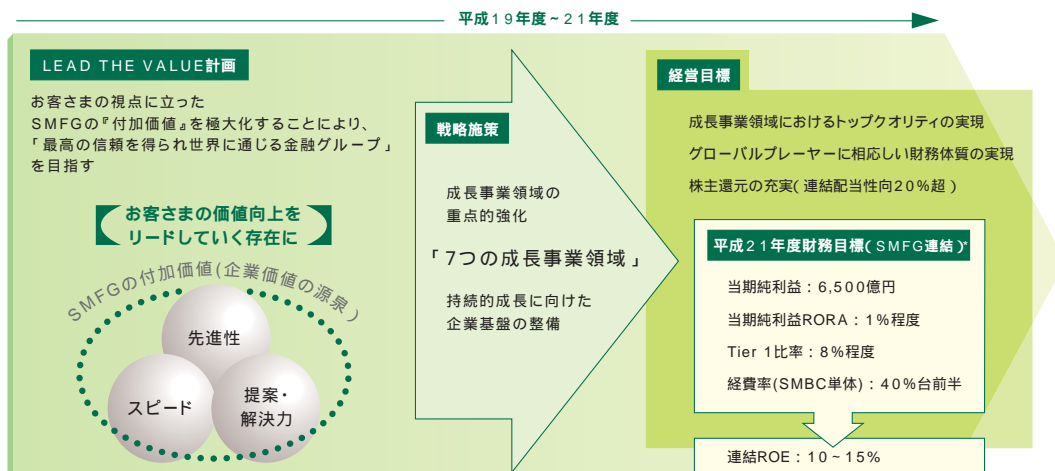
- 成長事業領域におけるトップクオリティの実現
- グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現
- 株主還元の充実

という、3点の経営目標を実現すべく、成長事業領域の重点的強化と企業基盤の整備という戦略施策に積極的に取り組んでいます。

中期経営計画：「最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループ」
「LEAD THE VALUE 計画」が
目指すもの



「LEAD THE VALUE 計画」の概要



*円金利は0.25%の政策金利引き上げが19年度・20年度に各1回行われること、名目GDPは年率2%台で成長すること、為替レートは1ドル=115円で推移すること、を前提。

「LEAD THE VALUE 計画」における戦略施策の考え方

当社グループはこれまで、いち早く戦略ビジネスを見極め、高い生産性・効率性をベースとした独自のビジネスモデルを構築することで、収益力を強化すると共に、アセットクオリティを大幅に改善することで、ボトムライン収益を回復、平成18年度、公的資金を当初計画比1年半前倒しで完済、収益力の強化、財務体質の改善の両面で着実に成果を挙げてきました。

しかしながら、この間の環境変化に目を転じると、国内貸出市場の競争激化や労働市場の逼迫など、前回の経営計画策定時の想定を超えた変化が起こっています。今後、当社グ

ループが、収益機会となるマクロトレンドを着実にとらえ、グローバルな競争環境下で成長を持続させていくためには、リストラ・合理化の徹底等を通じて収益を極大化するという、従来のアプローチから、中長期的な視点に立った成長投資を積極的に行いながら、持続的な成長を実現するアプローチへと転換を図る必要があると考えています。こうした問題意識に基づき当社グループは、「LEAD THE VALUE 計画」において「成長事業領域の重点的強化」と「持続的成長に向けた企業基盤の整備」の2つの戦略施策を展開しています。

「LEAD THE VALUE 計画」の戦略施策

